

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	6～7ヵ月児健康相談				開始年度	平成18年	
基本目標	生涯にわたる心身の健康づくり				終了年度		
担当課(局)	健康福祉課	担当係	健康推進係	記入者	日高真理子	評価者	井上敏郎
20年度決算	12	千円	21年度予算	12	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	1,006 千円		21年度人件費	1,020 千円		事業従事者数	0.14 人 0.14 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	育児相談や離乳指導を行うことにより、子どもの健やかな発育を支援する。
事業の内容	計測・育児相談・離乳指導等を行うことで、子どもの発育状況を確認し、離乳に対する知識を広める。開催が2ヵ月に1回(奇数月第4火曜日)であるため、対象者が都合のつかない場合は定期育児相談(月2回)を案内する。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 相談者数	母子健康手帳交付・3ヵ月健診時に説明するとともに、対象者に個別通知することで、相談者を増加する。
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 開催回数	年6回、6ヵ月相談に出来ない場合は育児相談日(月2回開催)を案内している。
	2 健康教育実施数	パワーポイントを使い、離乳食・育児指導を実施。離乳食を月例別に展示、また、実際に試食してもらっている。
	3 個別相談者数	離乳食・発育・育児に関する相談に個別対応している。

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	相談者数	目標値	169	150	150
		実績値	162	155	
		達成率	95.9%	103.3%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	開催回数	目標値	6	6	6
		実績値	6	6	
		達成率	100.0%	100.0%	
	健康教育実施数	目標値	162	155	150
		実績値	145	140	
		達成率	89.5%	90.3%	
	個別相談者数	目標値	162	155	150
		実績値	162	155	
		達成率	100.0%	100.0%	

◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	医療機関(H18年度まで)実施していた個別健診では、育児・離乳食指導を受ける場が少ないようであったが、町で実施することで、子どもの発育状態が確認でき、育児・離乳食指導ができる。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	育児・離乳相談を行うことで、離乳食に関する悩みの他、児の発育や育児に関する様々な、相談が寄せられ、子育て支援の場となっている。育児不安にある母親への個別の支援ができるとともに、離乳の大切さについて学習する場を広く提供できる。また、発育状況が確認できるとともに、3ヵ月児健診後のフォローの場ともなっている。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	平成20年度は対象者の8割の相談者を見込んでいたため、103%の達成率となっている。6～7ヵ月は離乳食を開始してまもない時期であるため、具体的な離乳食指導を行うことや、育児相談を行うことは育児支援につながっている。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	今後、必要に応じ検討していく。

事務事業名	6～7カ月児健康相談	担当課(局)	健康福祉課
-------	------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	母子の状況把握と子育て支援に有効な事業であり、継続する必要がある。	今後の方向性				
			拡充			○	
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎定期的育児相談との相違点を明確にして、積極的な取組を望む。
	コスト	現状維持	